

東邦銀行の現況

平成21年度決算



(花見山:福島市)

平成22年5月



目次



．私たちの郷土“ふくしま”

- 1 ．福島県の概況…………… 2
- 2 ．福島県の特性…………… 3
- 3 ．福島県の地理的優位性…………… 4
- 4 ．福島県の産業…………… 5～8

．平成21年度 決算の概要

- 1 ．平成21年度 決算の概要…………… 10
- 2 ．資金利益の推移…………… 11
- 3 ．総預かり資産の状況…………… 12
- 4 ．福島県内における預金シェアの推移…………… 13
- 5 ．貸出金の状況…………… 14
- 6 ．福島県内における貸出金シェアの推移…………… 15
- 7 ．貸出資産の質の状況…………… 16
- 8 ．有価証券の状況…………… 17
- 9 ．役務取引等収益の状況…………… 18
- 10 ．自己資本比率（単体）の状況…………… 19
- 11 ．資本政策…………… 20
- 12 ．平成22年度の業績見通し…………… 21

．経営方針・経営計画

- 1 ．長期目標・中期経営計画…………… 23
- 2 ．中期経営計画の経営目標…………… 24
- 3 ．法人マーケット戦略…………… 25～26
- 4 ．個人マーケット戦略…………… 27～28
- 5 ．地域活性化、金融円滑化への取組み…………… 29
- 6 ．CSRへの取組み…………… 30
- 7 ．人材育成への取組み…………… 31
- 8 ．その他…………… 32

・私たちの郷土“ふくしま”

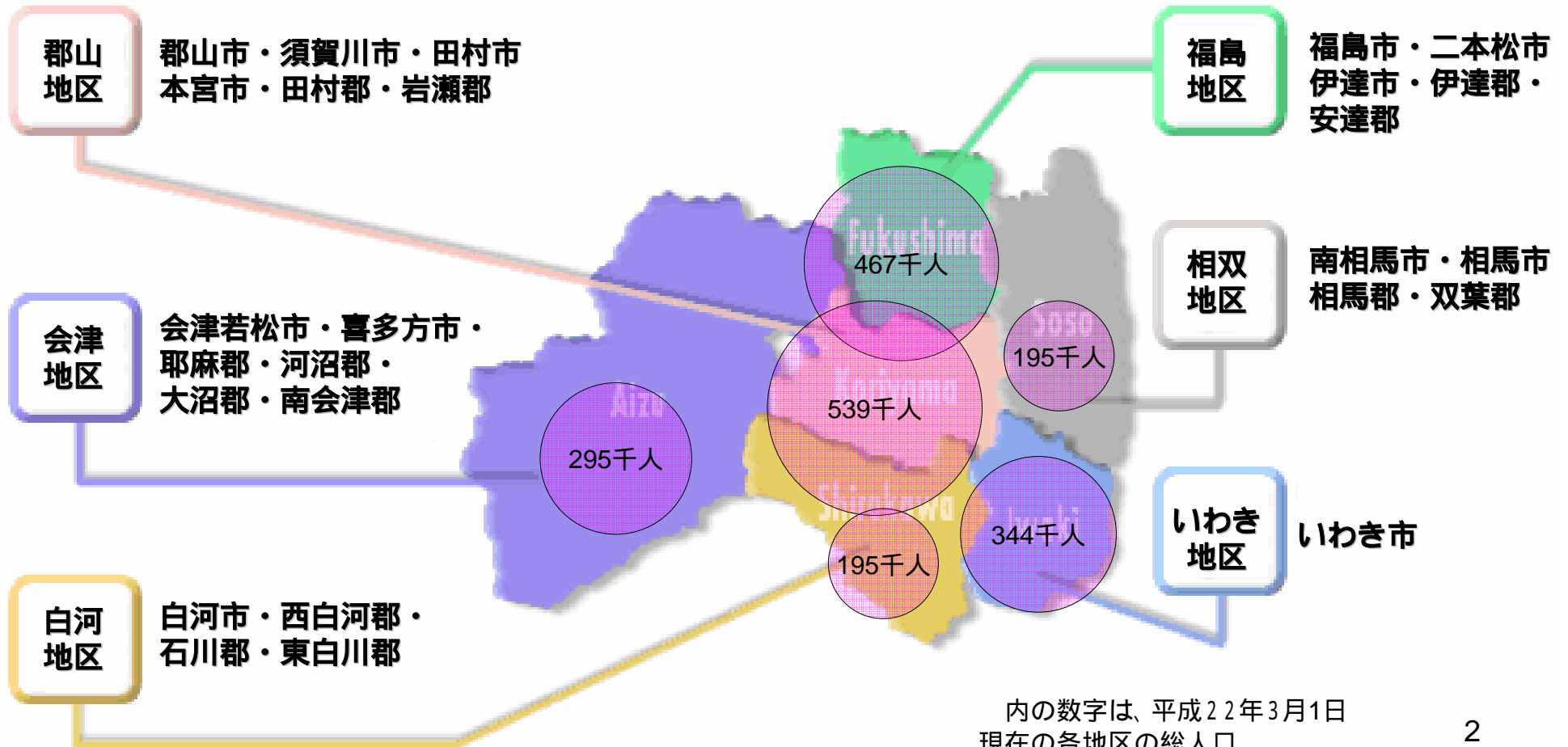
1. 福島県の概況

県土が広く、多極分散型の地域構造

総面積13,782km²(全国第3位)

人口203.8万人<平成22年3月1日現在>

県内59市町村(13市、31町、15村)<平成22年3月1日現在>



内の数字は、平成22年3月1日
現在の各地区の総人口

出所: 福島県 現住人口調査月報

2. 福島県の特性

福島県は、総面積・人口とも東北2位であるが、「一人あたり県民所得」「製造品出荷額等」は東北1位。魅力的な観光資源を背景に、温泉地数は東北2位・全国5位の水準にあり、今後の発展が期待されている。

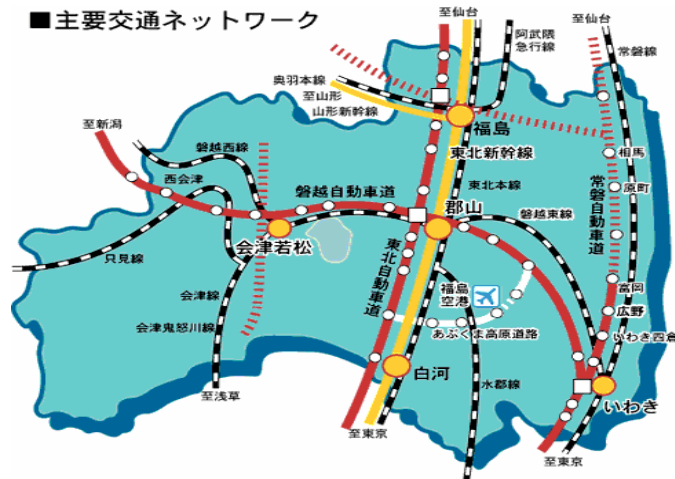
東北 順位		(単位)	福島	東北 シェア(%)	全国 順位	全国 シェア(%)	年次
2	総面積	(km ²)	13,782	20.6	3	3.6	2008年
2	人口	(万人)	203	21.8	18	1.6	2009年
1	一人あたり県民所得	(千円)	2,775	-	23	-	2006年
1	製造品出荷額等	(兆円)	6	32.7	19	1.8	2007年
2	温泉地数	(ヶ所)	134	20.7	5	4.2	2007年
2	県内総生産(名目)	(億円)	78,972	23.6	19	1.5	2006年
2	民営事業所数	(所)	99,265	21.6	19	1.7	2006年
2	民営従業者数	(人)	838,040	22.1	20	1.5	2006年
3	農業産出額	(億円)	2,400	18.1	12	2.9	2007年
4	海面漁業漁獲量	(万t)	9	14.4	12	2.3	2007年
5	小売業年間商品販売額	(百万円)	1,209,421	9.1	34	0.9	2007年

出所) 福島県ホームページ、ふくしま統計情報ボックス、総務省「事業所・企業統計調査」

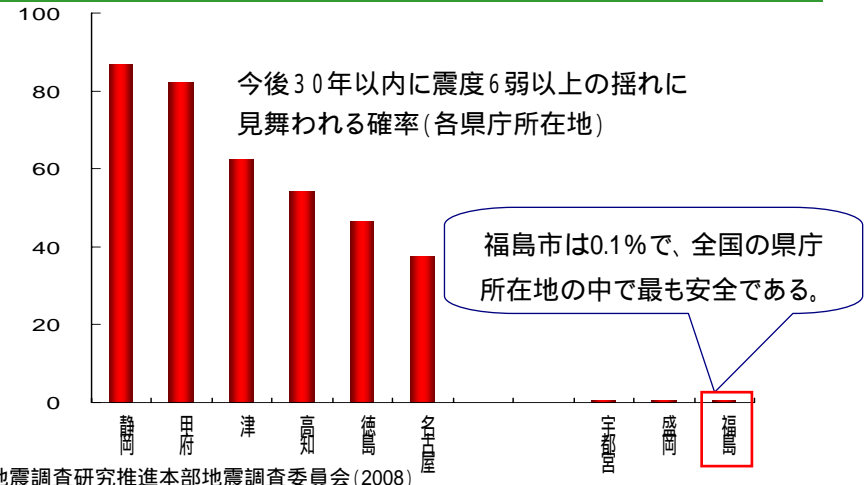
3. 福島県の地理的優位性

福島県は東北地方の最南端、首都圏から概ね200km圏内に位置し地理的優位性が高い。また、地震災害の将来確率が低いなど、安全な産業基盤を有している。「工場進出・受入れ魅力度調査」でも全国7位の評価。

首都圏から200km圏内に位置する地理・地的優位性



地震災害が少なく、安全・安心な産業基盤



「工場進出・受入れ魅力度調査」において全国総合7位の評価

順位	都道府県名	工場受入件数(累計)
第1位	埼玉県	3,054
第2位	千葉県	1,917
第3位	茨城県	1,778
第4位	神奈川県	1,403
第5位	兵庫県	1,120
第6位	静岡県	1,036
第7位	福島県	1,034
第8位	栃木県	1,014
第9位	滋賀県	814
第10位	群馬県	804

出所: 東京商工リサーチ「工場進出・受入れ魅力度調査」(平成22年1月)

工場受入件数は東北1位

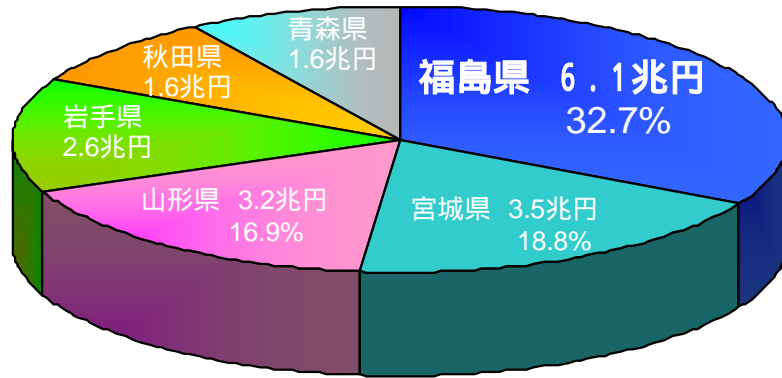
地区	順位	都道府県名	工場受入件数(累計)
東北	第1位	福島県	1,034
	第2位	宮城県	557
	第3位	岩手県	479
	第4位	山形県	379
	第5位	秋田県	322
	第6位	青森県	227

出所: 東京商工リサーチ「工場進出・受入れ魅力度調査」(平成22年1月)

4. 福島県の産業(1) ~ 製造業 ~

福島県は、地理的優位性を基に、東北随一の製造業集積を誇る。製造品出荷額は東北地方の約3割を占めており、今後も製造業が県内経済を牽引。

東北6県において製造品出荷額のシェアが圧倒的に高い



出所：経済産業省「平成19年工業統計表」

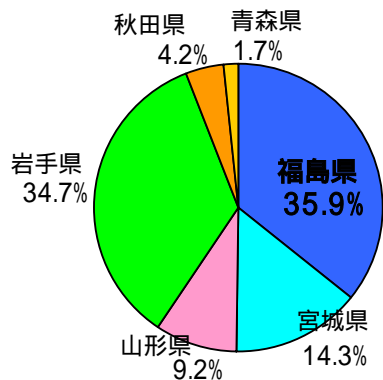
東北地方の製造品出荷額等順位(市町村別)

順位	市区町村名	製造品出荷額等 (億円)
第1位	福島県いわき市	1兆667億
第2位	福島県郡山市	1兆198億
第3位	山形県米沢市	8,061億
第4位	福島県福島市	7,974億
第5位	青森県八戸市	5,857億
第6位	宮城県仙台市	5,532億

出所：経済産業省「平成19年工業統計表」

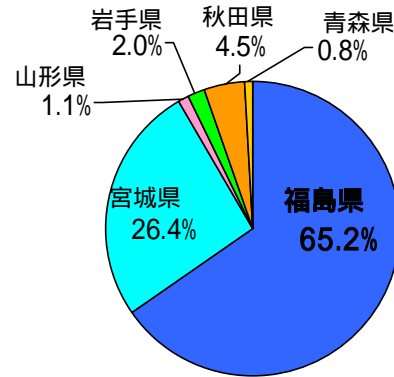
東北6県における業種別製造品出荷額の県別構成比

< 輸送用機械器具製造業 >

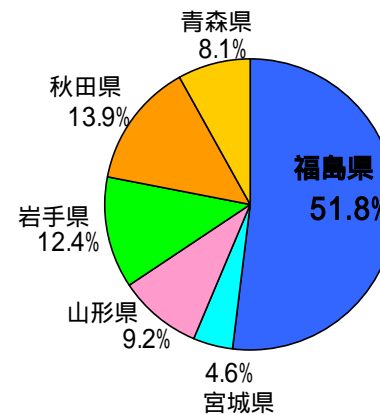


出所：東北経済産業局「東北経済のポイント」(平成21年度版)

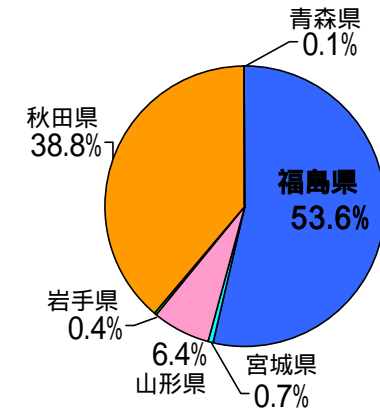
< ゴム製品製造業 >



< 精密機械器具製造業 >



< 医療機械器具、装置製造業 >
(部分品、取付具、付属品含む)



4. 福島県の産業(2) ~ 観光業 ~

福島県は、観光資源が豊富であり、全国の観光宿泊者数減少の中でも県内への宿泊者は増加。また、小名浜港の整備や福島空港の国際便利用促進等もあり、外国人観光客の増加も期待。観光関連産業も福島県経済を活性化していく期待大。

福島県の豊かな自然

自然公園面積: 1791.24 km² **全国 6位** <平成20年>

林野面積: 943千ha **全国 4位** <平成17年>

湖沼面積: 103.32 km² **全国 4位** <平成20年>
(猪苗代湖)

温泉地数: 134カ所 **全国 5位** <平成19年>

多目的運動広場数: 134.4施設 **全国 5位** <平成17年>
(人口100万人当たり)

出所: ふくしま統計情報ボックス

福島県を訪れる宿泊旅行者は増加

項目	全国		福島県		構成比		東北順位	全国順位	
	20年	千人泊	7,589	千人泊	2.5	%			
宿泊者数	20年	306,147	千人泊	7,589	千人泊	2.5	%	1位	13位
	19年	309,381	千人泊	7,516	千人泊	2.4	%	1位	13位
増減数	3,234	千人泊	73	千人泊	-	-	-	-	
前年同期比	1.0	%	1.0	%	-	-	-	-	

出所: 福島県ホームページ

都道府県別「延べ宿泊者数順位(旅館+リゾートホテル)」

(単位: 千人)

順位	都道府県名	延べ宿泊者数
第1位	北海道	12,263
第2位	千葉県	9,830
第3位	静岡県	9,458
第4位	長野県	7,767
第5位	沖縄県	7,643
第6位	福島県	5,362
第7位	群馬県	5,032
第8位	栃木県	4,875
第9位	新潟県	4,149
第10位	三重県	3,969

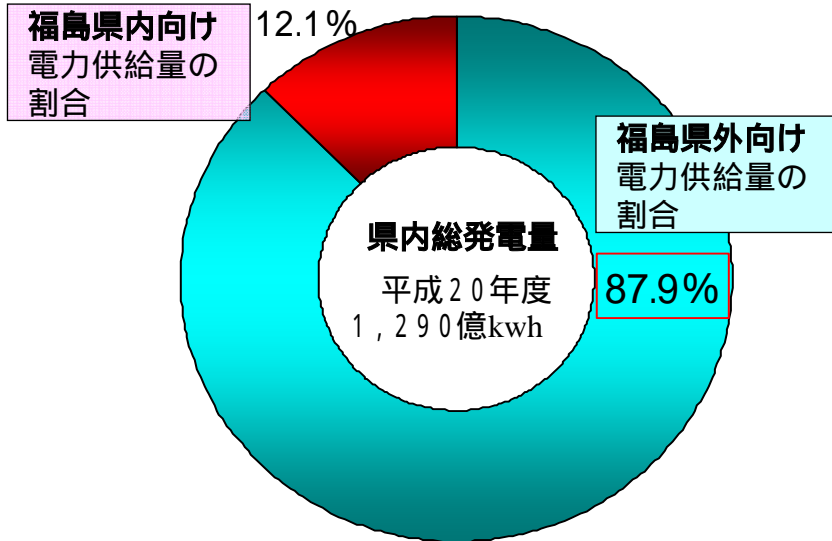
出所: 国土交通省 観光庁 宿泊旅行統計調査報告(平成20年1~12月)

4. 福島県の産業(3) ~ エネルギー産業 ~

福島県は、わが国最大の発電県であり、作られた電気の多くが首都圏へ送られている。エネルギー産業およびそれらに関連する産業も広がっている。

福島県はわが国最大の発電県

福島県内の発電量は全国1位
(国内シェア 11.3%)



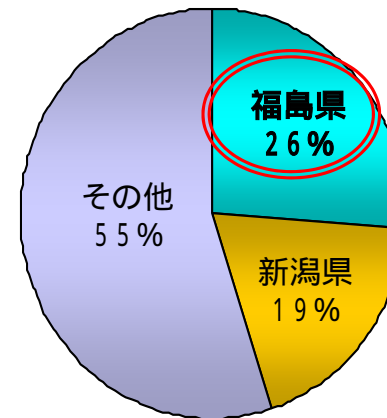
出所: 福島県エネルギー課

福島県内総発電量の構成比 (平成20年度)



出所: 福島県エネルギー課

首都圏における福島県産電力の割合



出所: 日本銀行福島支店(平成18年度実績)

福島県は首都圏向け最大の電力供給地

福島県には、水力・火力・原子力等を合わせて約100ヵ所もの発電所があり、作られた電気は県内で使用されるほか、その多くが首都圏へ送られ、首都圏の電力需要を支えている。

新たなエネルギーのふるさと“ふくしま”



日本最大級の風力発電

郡山市の布引高原には風車33基を備え、日本最大級の出力を誇る風力発電設備があり、日本の風力発電のリード役を担っている。

4. 福島県の産業(4) ~ 農業 ~

福島県は、多様な風土を背景として、高品質かつ多彩な農作物を産出。なかでも、米は全国的にも高評価。福島県では「ふくしま農商工連携ファンド」を創設し、農商工連携による食産業の発展を積極的に支援。

福島県の農産物の概況

福島県の農業産出額 2千4百億円 **全国12位** <平成19年>

米	: 445千トン	全国 4位 <平成19年>
果実		
もも	: 27千トン	全国 2位 <平成19年>
なし	: 22千トン	全国 4位 <平成19年>
りんご	: 35千トン	全国 5位 <平成19年>
野菜		
さやいんげん	: 4千トン	全国 2位 <平成19年>
きゅうり	: 53千トン	全国 4位 <平成19年>

出所:ふくしま統計情報ボックス

福島県の米は全国的に高評価

<食味ランキング(平成20年産)>

会津地区(コシヒカリ)	… 特A
中通り地区(ひとめぼれ)	… 特A
会津地区(ひとめぼれ)	… A'
中通り地区(コシヒカリ)	… A
浜通り地区(コシヒカリ)	… A

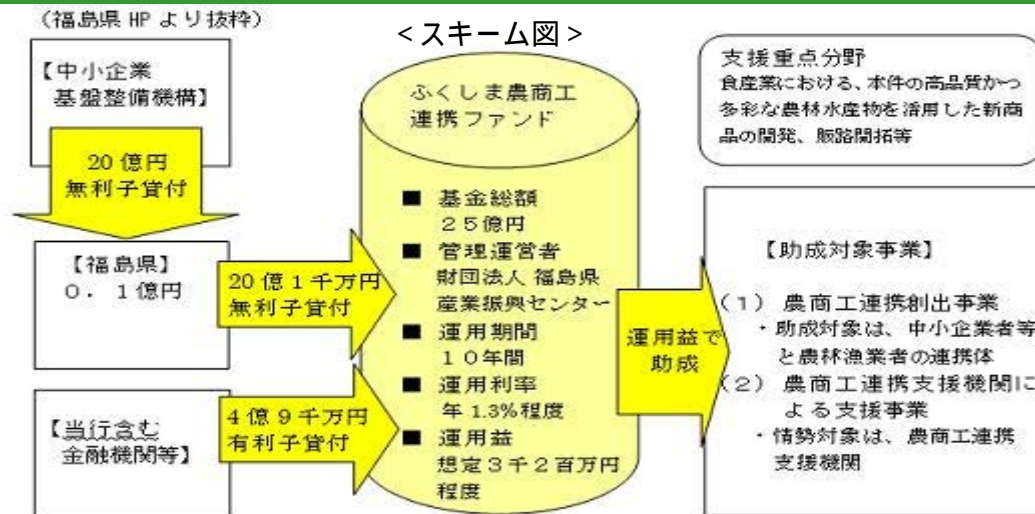
出所:財団法人 日本穀物検定協会

「ふくしま農商工連携ファンド」への取り組み

「ふくしま農商工連携ファンド」

福島県では、農商工連携による、付加価値の高い新商品の開発や販路拡大等を支援する目的で、「ふくしま農商工連携ファンド」を創設しました。

当行は当ファンドへの**金融機関融資額4億9千万円の内、2億6千万円をお引き受け**いたしました。
また、当ファンドにおける助成事業者として決定したお客さまに対して、当行所定利率から最大で金利を0.2%優遇する事業者向け融資商品「**東邦・農商工連携ファンド支援資金**」を創設しております。



. 平成21年度 決算の概要

1. 平成21年度 決算の概要

業務粗利益は、資金運用収益が減少するも、債券関係損益の改善により、前年度に比べ増加。
与信費用の減少もあり、経常利益は前年度に比べ大きく改善し、当期純利益は大幅増益決算となる。

(単位: 億円)

	20年度	21年度	増減
経常収益	626	627	+1
業務粗利益	473	498	+24
資金利益	429	423	6
役務取引等利益	57	50	7
その他業務利益	13	25	+38
うち債券関係損益	9	21	+31
経費	367	361	5
コア業務純益()	116	114	2
一般貸倒引当金繰入額	21	4	+17
業務純益	38 128	26 140	11 +12
臨時損益	81	34	+46
うち不良債権処理額	57	31	26
うち株式等関係損益	20	0	+19
経常利益	46	106	+59
特別損益	6	1	+4
税引前当期純利益	40	104	+64
当期純利益	18	67	+48

< 主な要因 >

貸出金・有価証券残高ともに前年度比増加。政策金利引下げの影響等により資金運用収益は減少し、役務取引等収益も減少した。一方、有価証券関係損益部門が堅調に推移したこと等により業務粗利益は前年度比増益

着実な貸出金利息収入、有価証券利息収入を背景に資金利益は420億円台で安定推移

経費の圧縮に努め、前年度比減少

銀行の本来業務で計上された利益

$$() \text{コア業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{債券関係損益} - \text{経費}$$

不良債権処理額の大幅な減少により与信費用は減少

株式市場の回復基調により、株式等関係損益が改善

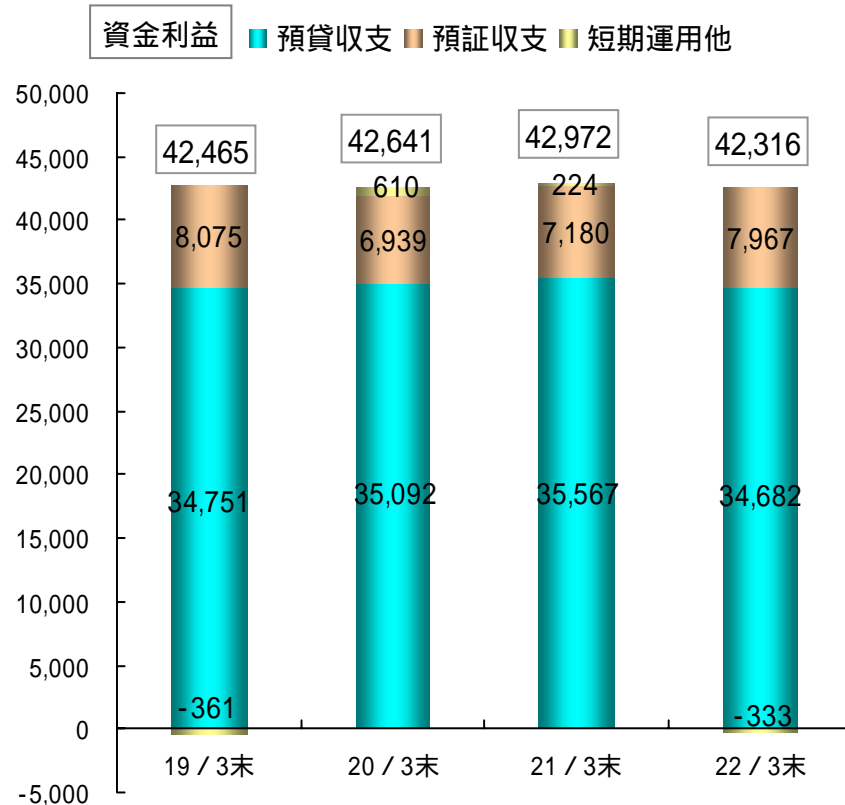
**経常利益は、前年度比59億円増加
当期純利益は、前年度比48億円増益と、大幅な増益決算**

2. 資金利益の推移

厳しいマーケット環境下においても、業務粗利益の中核を占める資金利益は着実な貸出金利息収入、有価証券利息収入を背景に420億円台で安定的に推移。

資金利益の推移

(単位:百万円)



主な要因及び戦略

運用・調達の強化

法人マーケット戦略

「営業基盤強化運動」の継続展開
 私募債など多様な金融商品の提供
 「経営課題提案型営業」の展開
 ビジネスマッチングの活性化・成長分野への取組み強化

個人マーケット戦略

個人預金、預り資産の増強
 ATM戦略の実行
 本体発行クレジットカード「Always」会員の増強
 ローン専門店への人材の重点配置
 個人ローン増強戦略と顧客状況に応じた適切な相談体制

有価証券運用戦略

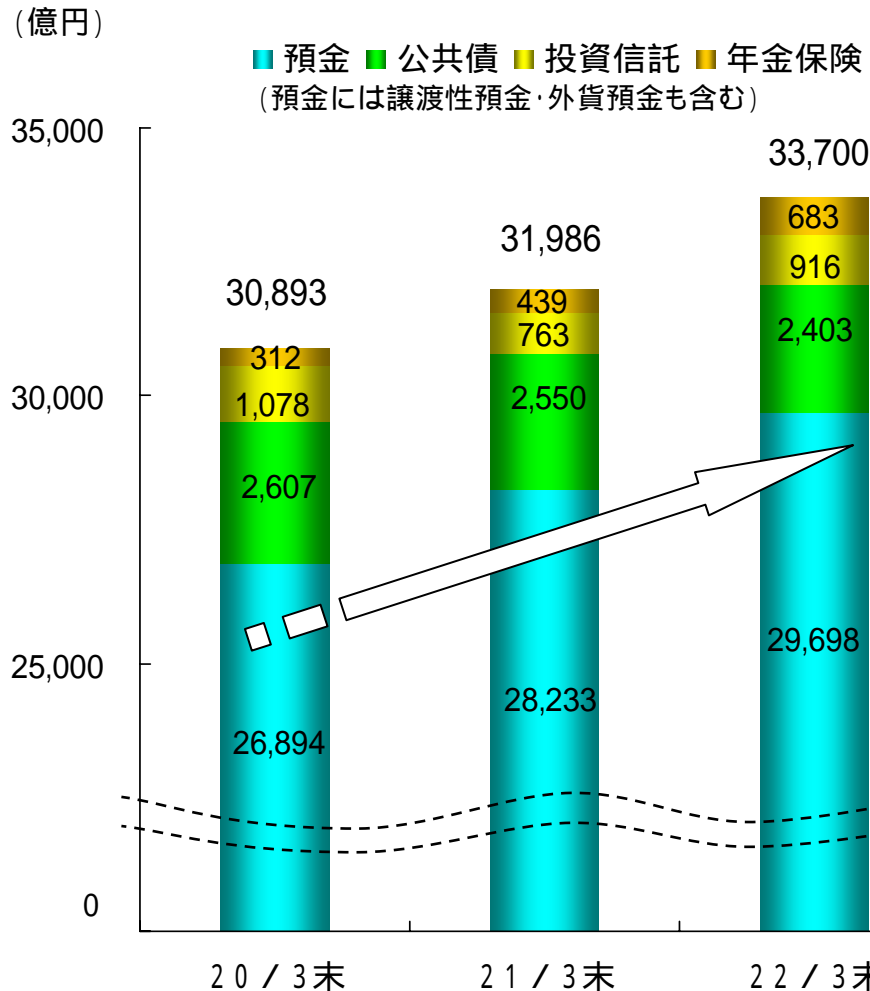
有価証券ポートフォリオの再構築
 長期化戦略による金利リスクテイクの実施

3. 総預かり資産の状況

お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えしてきた結果、総預金残高が3兆円を突破。(平成22年3月26日)
 また、総預かり資産は前年度比1,713億円増加。

総預かり資産残高(預金+預かり資産)の推移

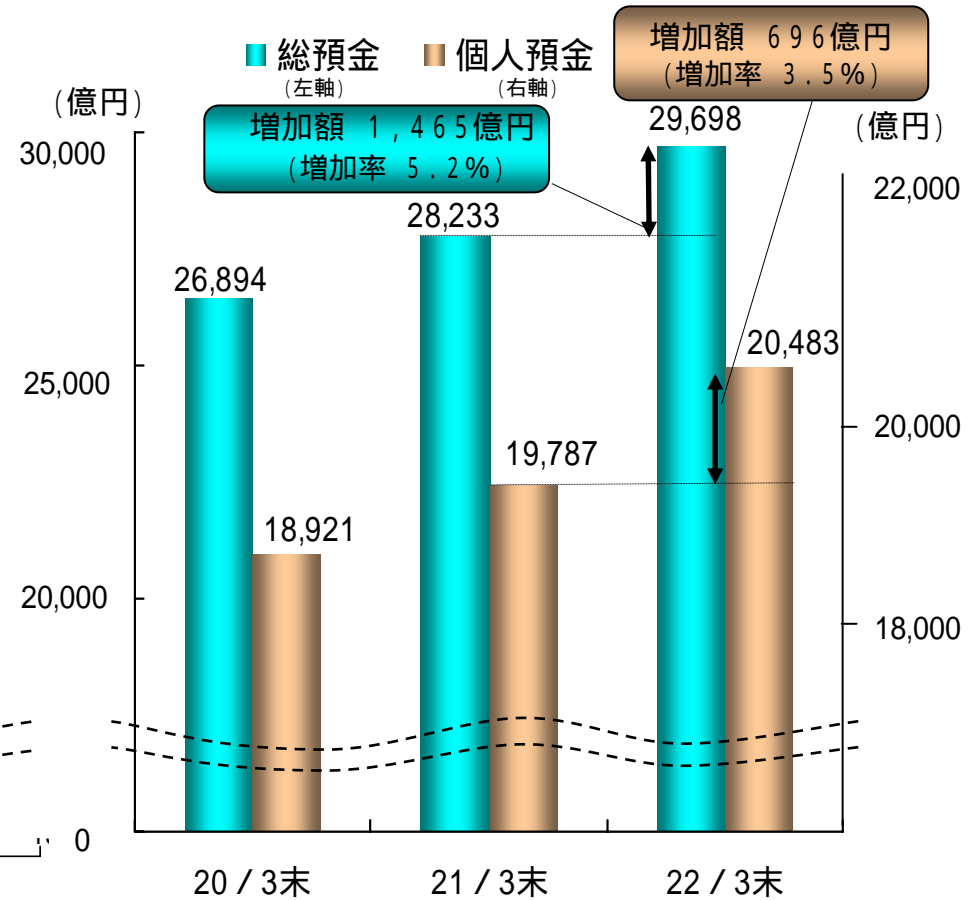
預かり資産・・・公共債、投資信託および年金保険



総預金・個人預金残高の推移

総預金残高 1,465億円増加(前年同期比増加率5.2%)

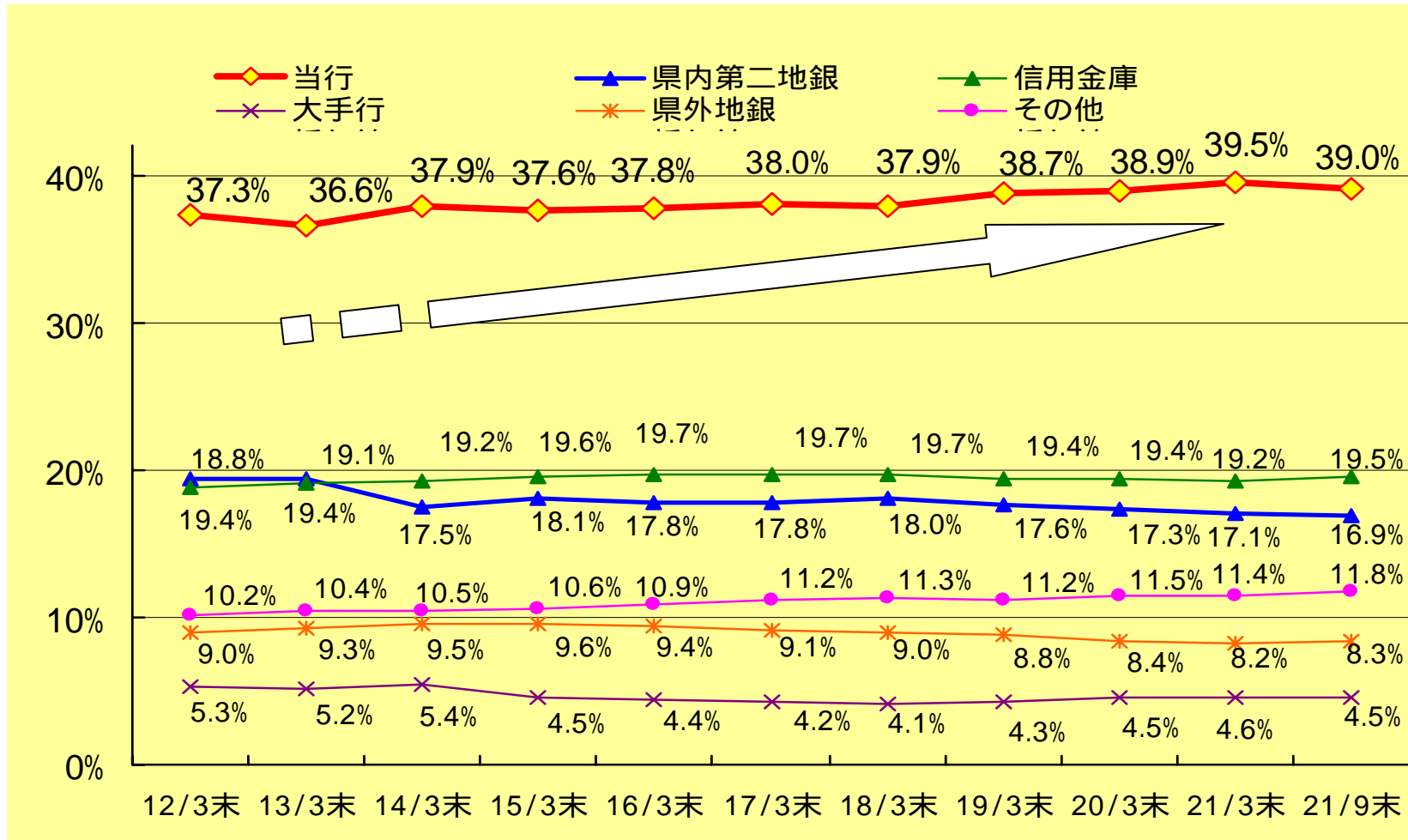
個人預金残高 696億円増加(前年同期比増加率3.5%)



4. 福島県内における預金シェアの推移

お客さまのさまざまなニーズに対応する商品・サービスの提供により、地域のお客さまからの信頼をいただいた結果、個人預金増加率が高水準を維持するなど、当行の県内預金シェアは堅調に推移。

福島県内預金シェア(ゆうちょ銀行・農協を除く)

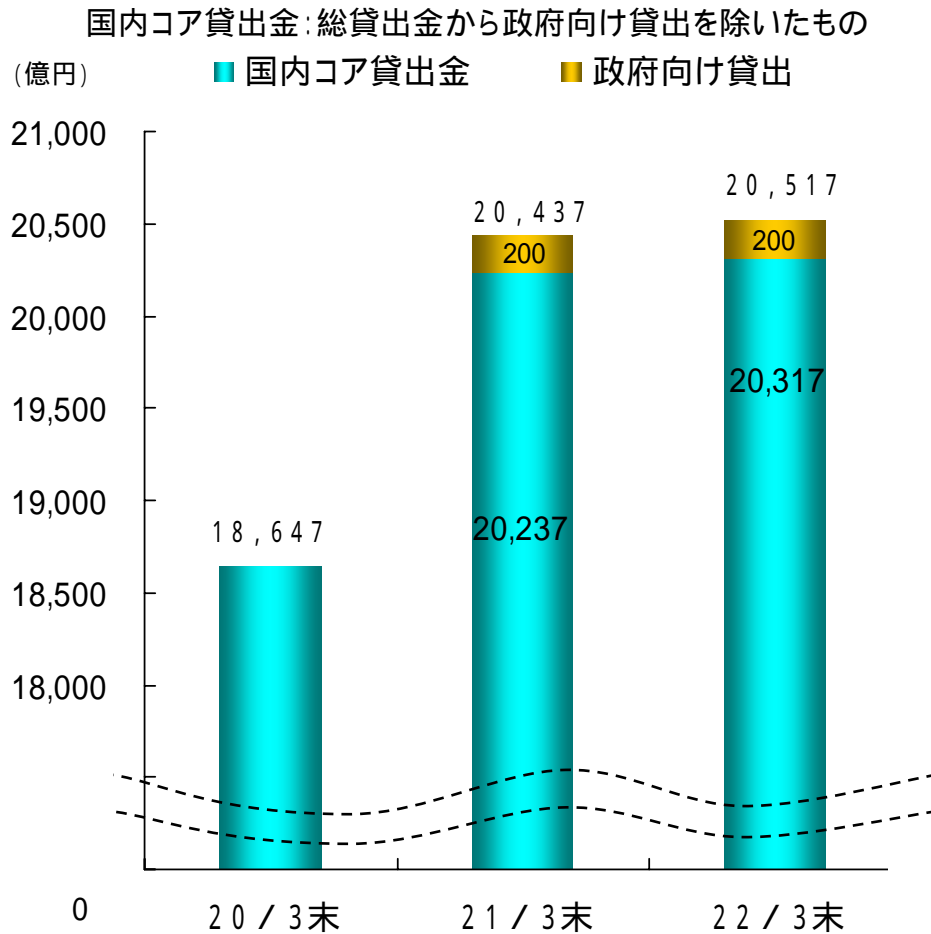


出所: 日本金融通信社

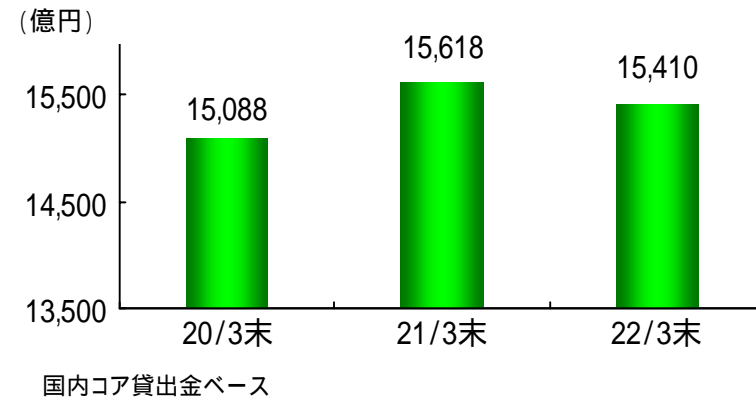
5. 貸出金の状況

地元企業をはじめとした事業性貸出の需要に積極的にお応えした結果、国内コア貸出金は前年度比80億円増加。個人ローンについても、ローン専門店の強化等により、前年度比39億円増加。

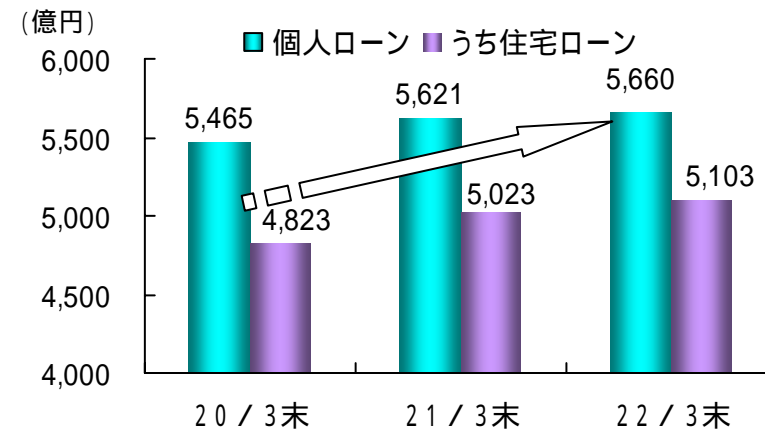
総貸出金・国内コア貸出金残高の推移



福島県内の貸出残高



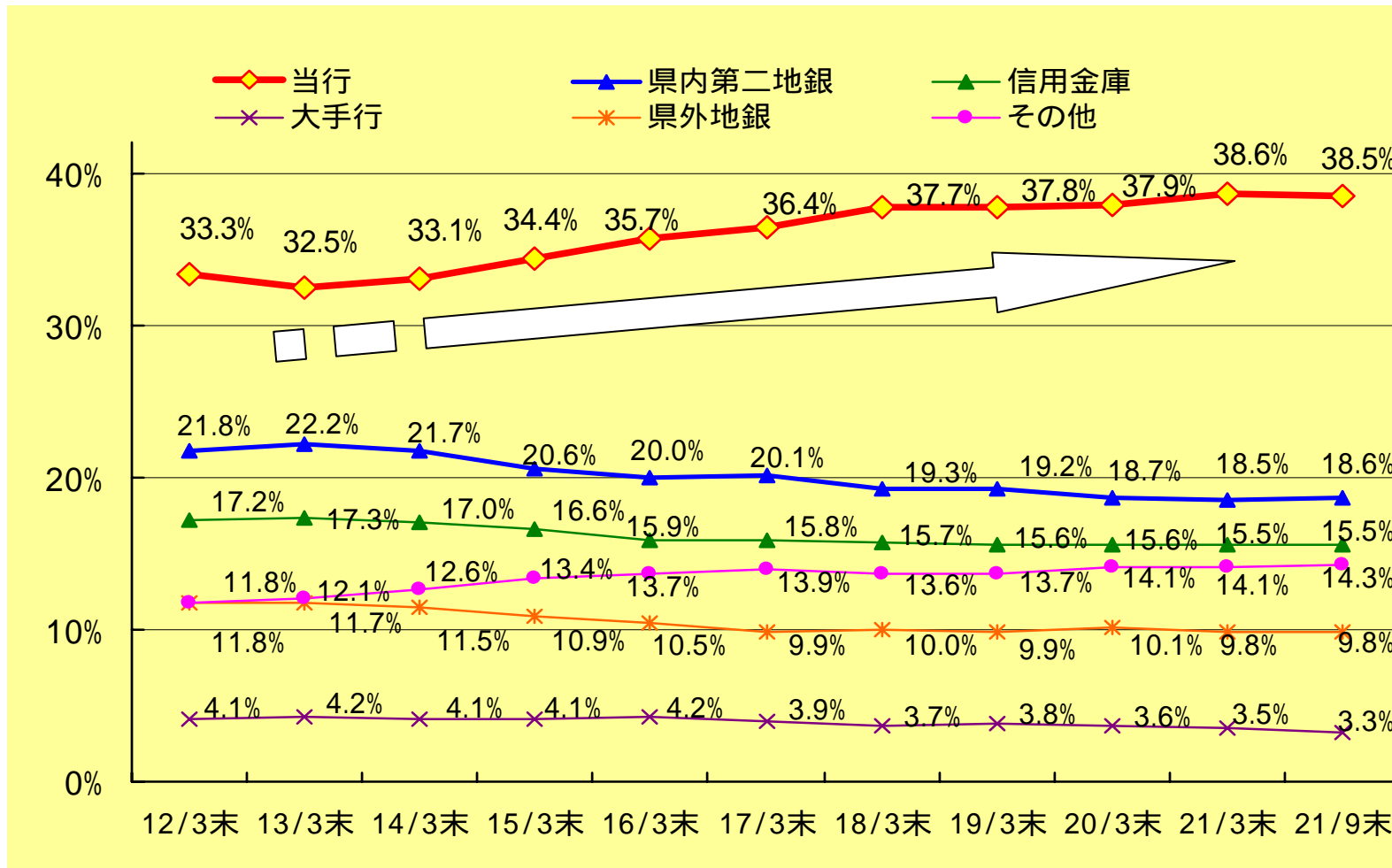
個人ローン残高の推移



6. 福島県内における貸出金シェアの推移

お客さまの視点に立った商品・サービスの提供により、県内各地区でのシェアアップを図り、県内貸出金シェア40%の早期達成を目指す。個人ローンの増加等により当行の県内貸出金シェアは堅調に推移。

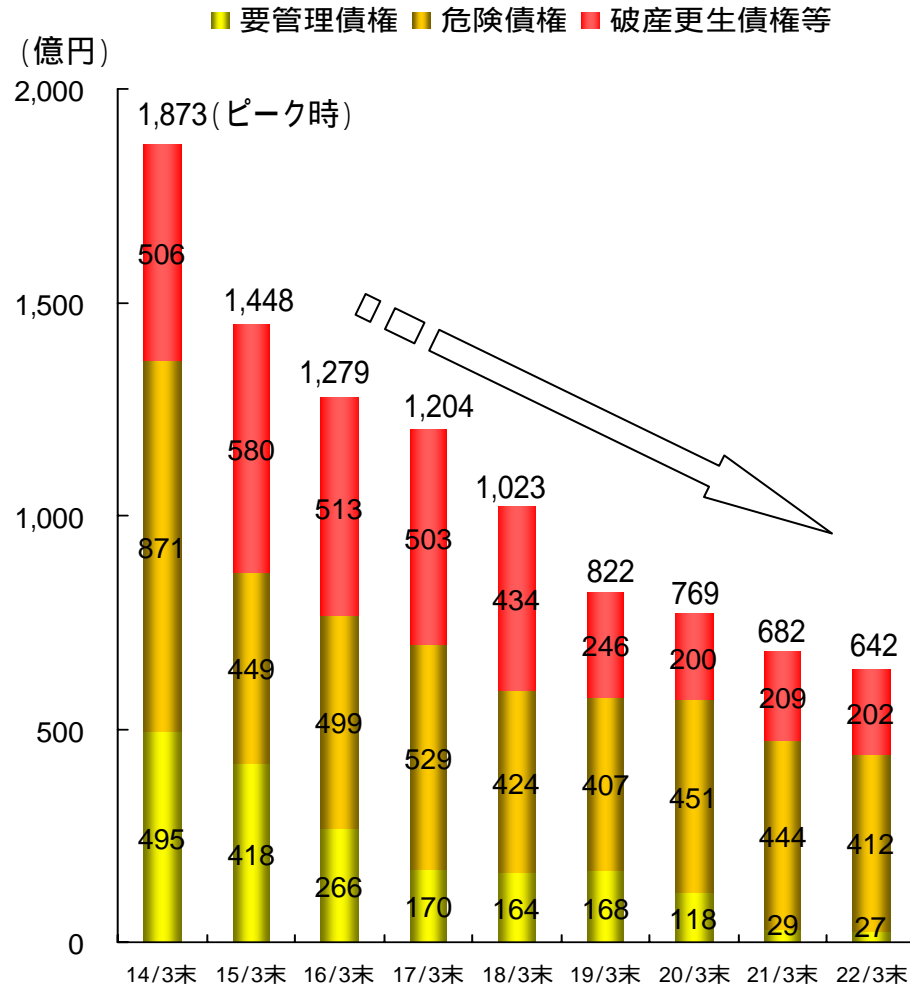
福島県内貸出金シェア(農協・政府系金融機関を除く)



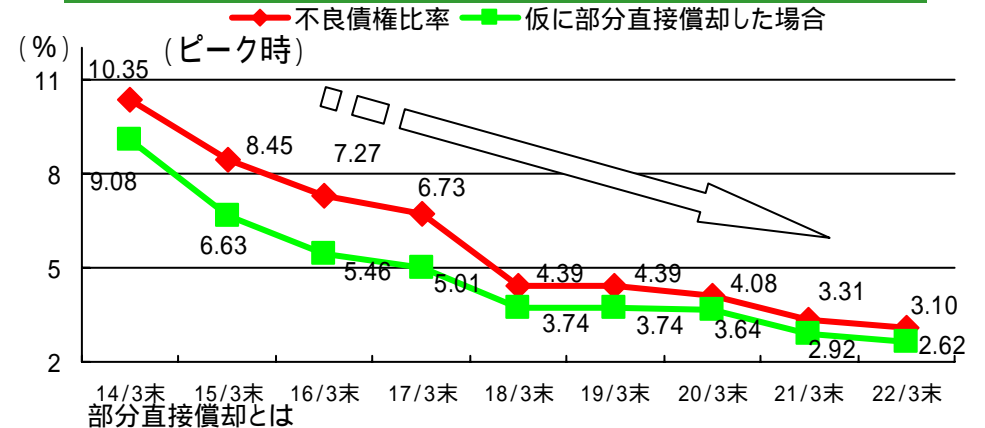
7. 貸出資産の質の状況

経営改善支援・事業再生等への積極的な取組みを実施しており、金融再生法開示債権比率は3.10%まで低下。
 (仮に部分直接償却した場合2%台まで低下)

金融再生法開示債権の推移

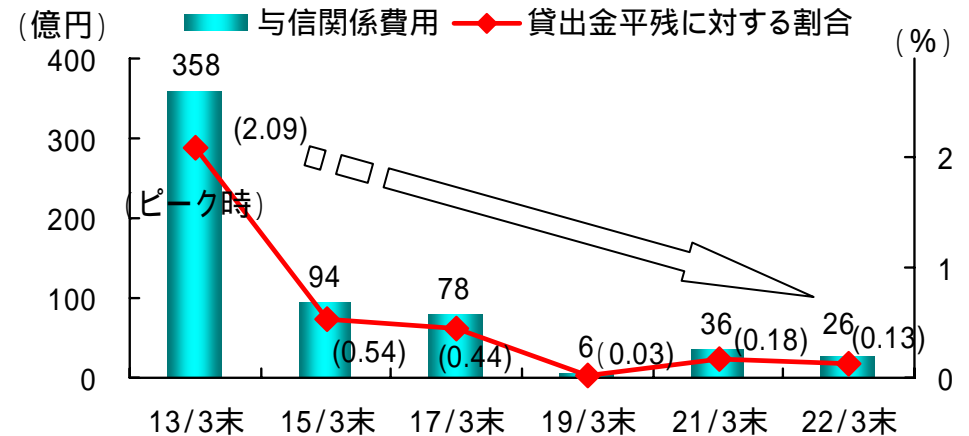


金融再生法開示債権比率の推移



部分直接償却とは
 「破産更生債権等」について、回収困難と認められる額に対し個別貸倒引当金の計上ではなく、貸倒償却として債権額から直接減額すること。

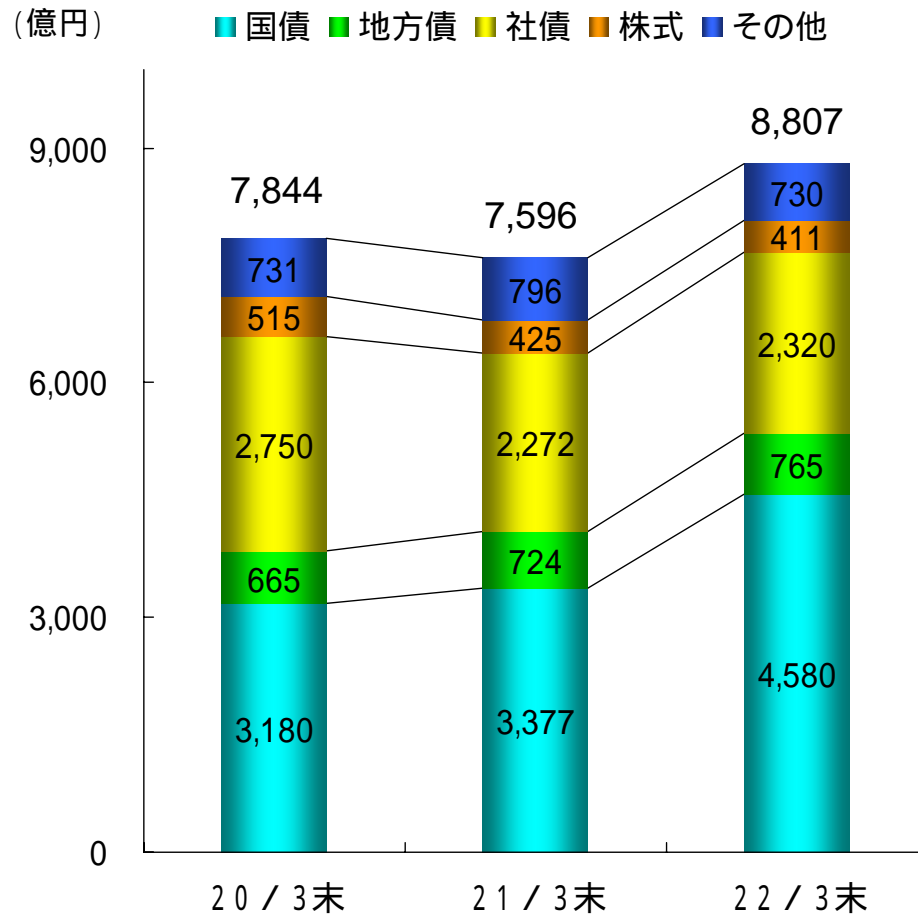
与信関係費用(一般貸倒引当金+個別貸倒引当金)の推移



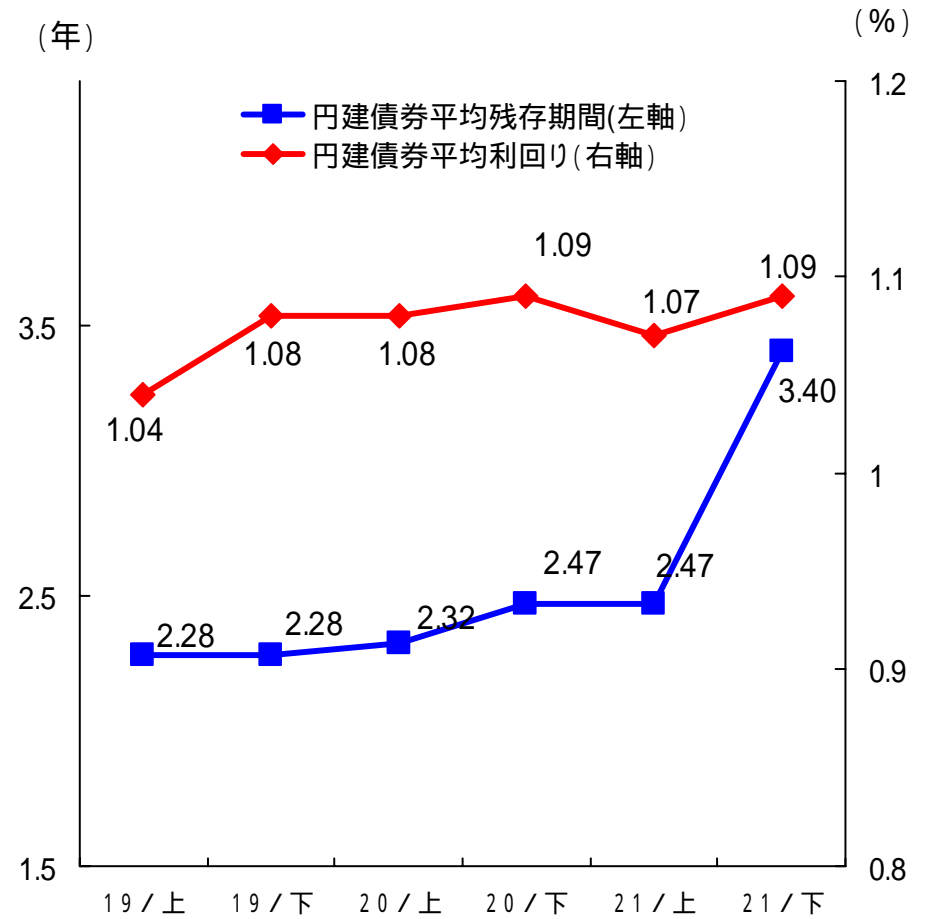
8. 有価証券の状況

投資環境や市場動向に留意しながら効率的な資金運用に努めた結果、国債および社債を中心に、有価証券は前年度比 1,210 億円増加し、8,807 億円となった。

有価証券ポートフォリオの構成推移



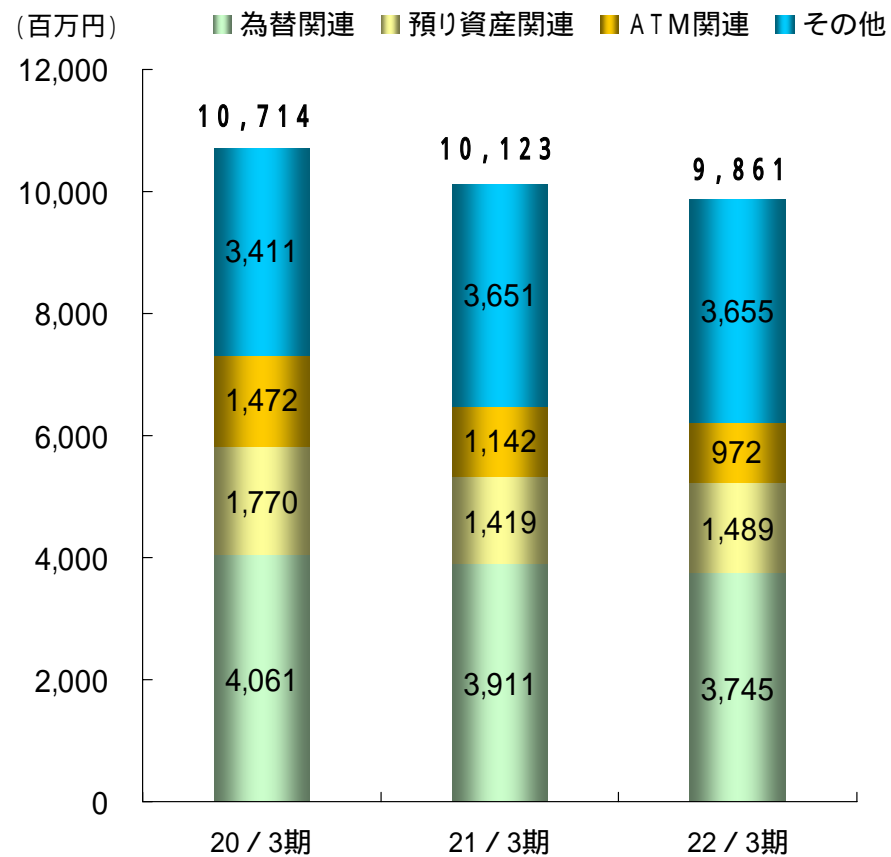
円建債券平均残存期間・利回りの状況



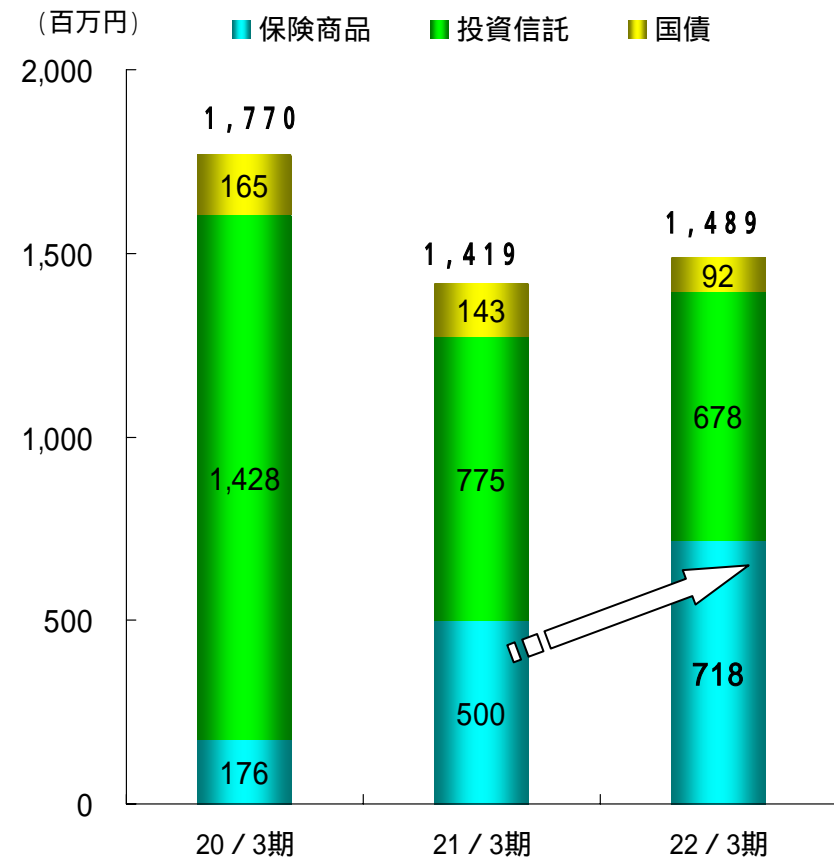
9. 役務取引等収益の状況

ATM利用手数料無料サービスの拡充などお客さまの利便性を重視した戦略に伴う影響として、役務取引等収益は前年度比 262 百万円減少。一方、資産運用相談への積極的対応により、預り資産関連手数料は増加に転じた。

役務取引等収益の推移



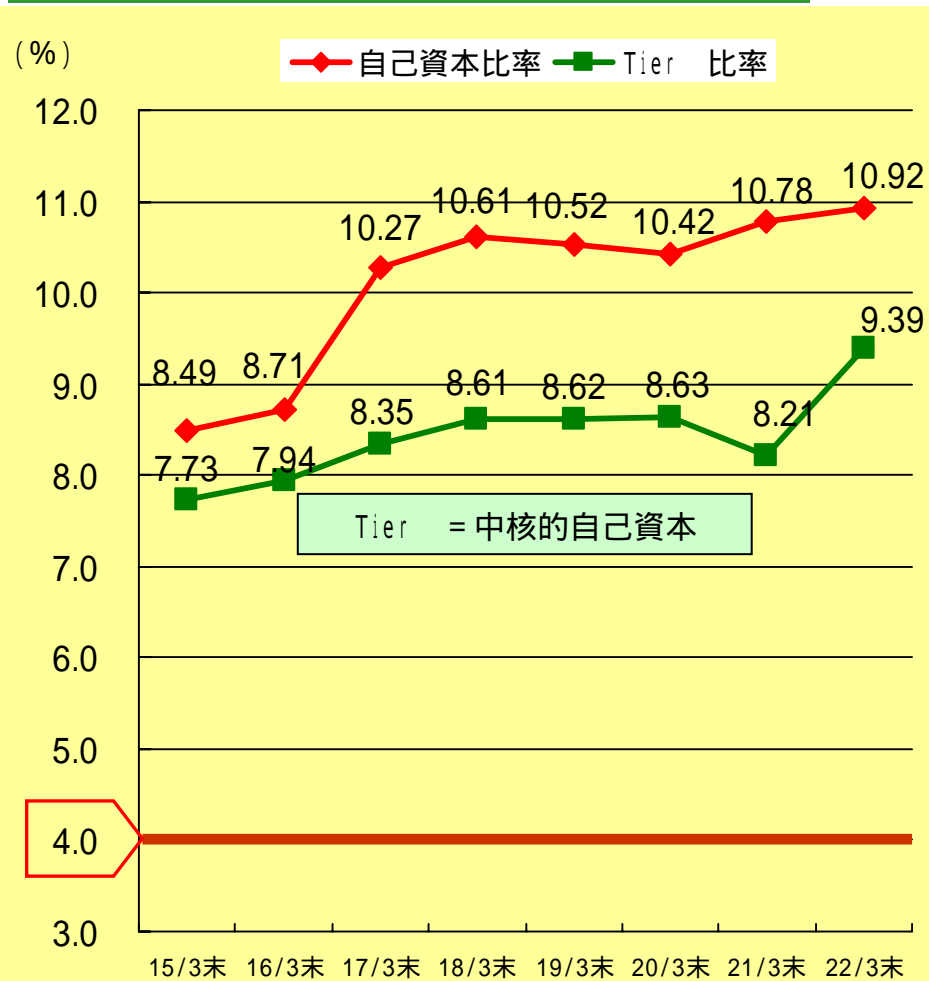
預り資産関連手数料の推移



10. 自己資本比率(単体)の状況

普通株式での新株式発行による資本増強などにより、Tier 比率は前年度比 1.18% 上昇の 9.39% となった。自己資本比率は、劣後特約付社債 150 億円を償還したものの、前年度比 0.14% 上昇の 10.92% となった。

自己資本比率の推移



自己資本の推移

(億円)

	21/3末	22/3末	前年度比
自己資本	1,554	1,550	3
Tier	1,183	1,333	+150
Tier ()	373	217	155
リスクアセット額	14,413	14,200	212

() Tier : 一般貸倒引当金・土地再評価差額および劣後社債・劣後ローン等

国内のみで業務を営む金融機関は、4%以上の自己資本比率を維持することが義務付けられている。

11. 資本政策

中長期的な成長戦略の布石として、またお客さまのさまざまな資金ニーズにお応えしていくため、中核的自己資本での資金調達が必要と判断し、22年ぶりに普通株式での公募による増資を実施。

公募増資等の内容

< 公募増資の内容 >

項目	発行内容
A. 発行株数	30,000,000株
B. 発行価格	1株につき 294円 (条件決定日終値 305円)
C. 払込金額	1株につき 280.27円
D. 払込金額の総額	8,408,100,000円
E. 増加する資本金・ 資本準備金の額	【資本金】4,204,050,000円 【資本準備金】4,204,050,000円
F. 払込期日	平成21年10月26日(月)

< 第三者割当の内容 >

項目	発行内容
A. 発行株数	4,500,000株
B. 払込金額	1株につき 280.27円
C. 払込金額の総額	1,261,215,000円
D. 増加する資本金・ 資本準備金の額	【資本金】630,607,500円 【資本準備金】630,607,500円
E. 払込期日	平成21年11月12日(木)

公募増資後の状況

< 増資後の資本金・資本準備金 >

(単位:百万円)

	資本金	資本準備金
当初残高	18,684	8,818
+ 新株3,000万株	4,204	4,204
+ 第三者割当450万株	630	630
増資完了後	23,519	13,653
(当初残高比)	(+4,834)	(+4,834)

株主優待制度の導入

【株主優待定期預金の取扱い開始】

- 株主の皆さまからの日頃のご支援にお応えするとともに当行株式への投資魅力をこれまで以上に高め、より多くの皆さまに長期間当行株式を保有していただくことを目的として、「**株主優待定期預金**」の取扱い開始を予定
- 毎年3月31日現在で当行株式を1千株以上保有している株主さまに対し、1年もの定期預金(預入金額100千円～3,000千円まで)に0.5%の金利優遇を実施

12. 平成22年度の業績見通し

平成22年度は、コア業務純益134億円、経常利益110億円、当期純利益65億円を見込む。

	21年度	22年度見通し	増減
業務粗利益	498	496	2
うち資金利益	423	440	+17
うち債券関係損益	21	0	21
経費	361	361	0
コア業務純益	114	134	+20
一般貸倒引当金繰入額	4	0	+4
業務純益	140	135	5
臨時損益	26 34	21 23	5 +11
うち不良債権処理額	31	21	10
経常利益	106	110	+4
当期純利益	67	65	2

引き続き、積極的に貸出ニーズにお応えしていくことで、資金運用収益の増加を図り、資金利益は前年度比増加、業務粗利益は前年度同程度を見込む

予防的な引当を実施してきており平成22年度の与信関係費用は前年度比減少を見込む

債券関係損益は減少を見込むものの、資金運用収益の増加や与信関係費用の減少などにより当期純利益は65億円を見込む

・経営方針・経営計画

1. 長期目標・中期経営計画

長期目標

目指す銀行像

(商標登録 第5238791号)



大きく・強く・たくましく

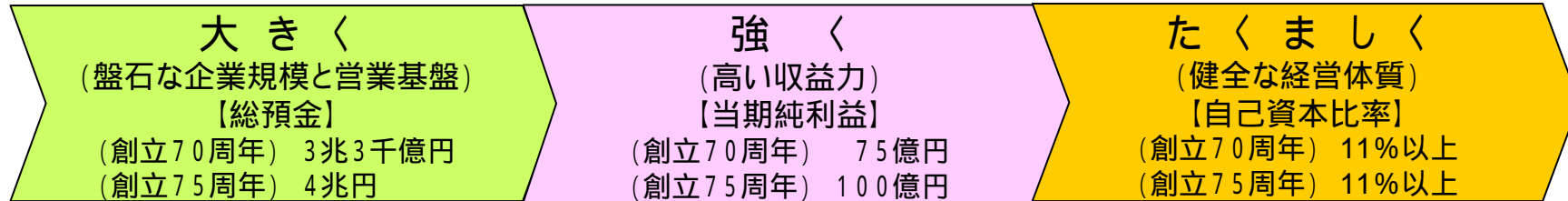
～地域に熱く・お客さまに誠実に・人を大事に～

創立70周年

…平成23年度

創立75周年

…平成28年度



基本的考え方

地域に熱く
ふるさと“ふくしまの発展のため、地域社会やお客さま、株主に対し、熱いところをもって行動する”

お客さまに誠実に
お客さまの視点に立って、誠実にこころをこめて接し、広く地域から選ばれる銀行となる

人を大事に
従業員が働きがいを実感できる企業風土を醸成し、当行の将来を担い、地域を支える人材を育成する

中期経営計画

名称

地域いちばん銀行計画2009

(計画期間: 2009年4月1日～2012年3月31日)

重点戦略

・お客さまの視点に立った商品・サービスの提供

法人マーケット戦略
個人マーケット戦略
チャンネル戦略・手数料戦略
CS向上
業務プロセスの再構築
・システムインフラの整備

・福島県を核とした地域への貢献

地域経済への貢献・支援
地域との連携・協働
地域活性化への継続的取り組み
・環境問題への取り組み
・地域社会への貢献

・全員参加型の企業風土の確立

人を育てる企業風土の確立
働きがいの実感できる企業風土の醸成
人材の効果的活用と配置
がんばった人が評価される仕組みの構築
創立70周年記念事業の実施

・経営の効率化と企業体力の強化

マーケット運用力の強化
資産健全化への継続的取り組み
資本政策・株主還元策
グループ総合力の強化
OHR(経費率)の改善

・経営管理態勢の強化

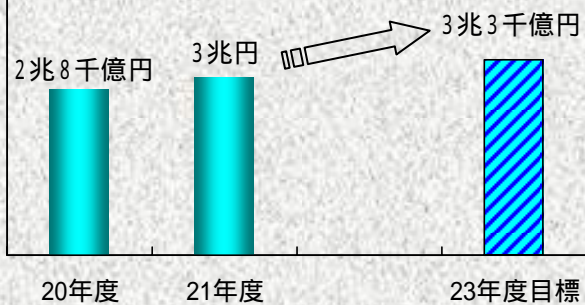
法令等遵守・顧客保護等
管理態勢の充実・強化
リスク管理態勢・自己資本管理態勢の充実・強化
会計基準変更等への対応
内部監査態勢の強化

2. 中期経営計画の経営目標

主要勘定目標

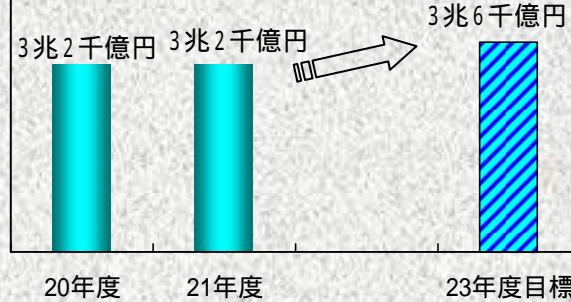
総預金(ピーク時残高)

最終年度目標 3兆3千億円



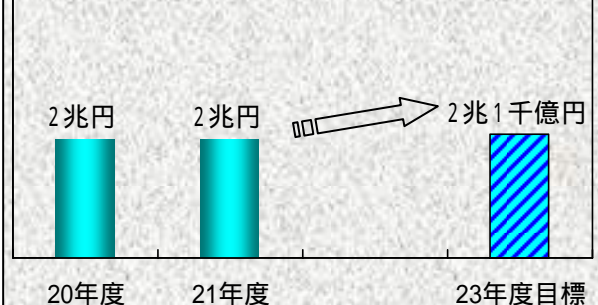
総預り資産(平均残高)

最終年度目標 3兆6千億円



貸出金(平均残高)

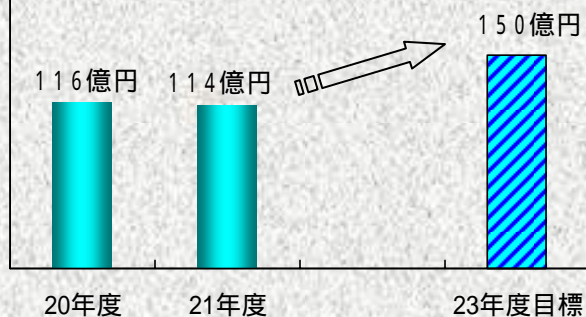
最終年度目標 2兆1千億円



経営指標目標

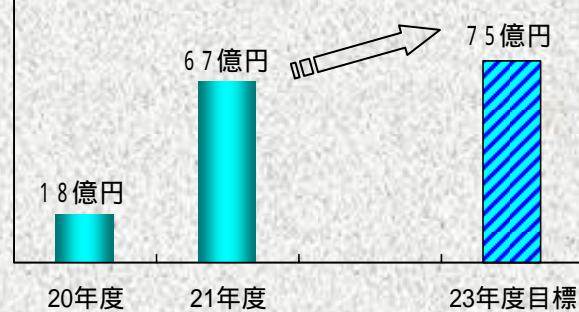
コア業務純益

最終年度目標 150億円



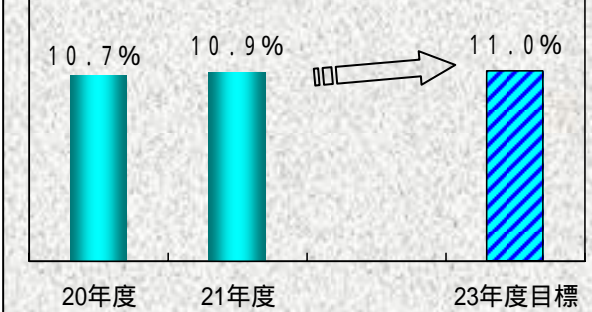
当期純利益

最終年度目標 75億円



自己資本比率

最終年度目標 11%以上



3. 法人マーケット戦略(1)



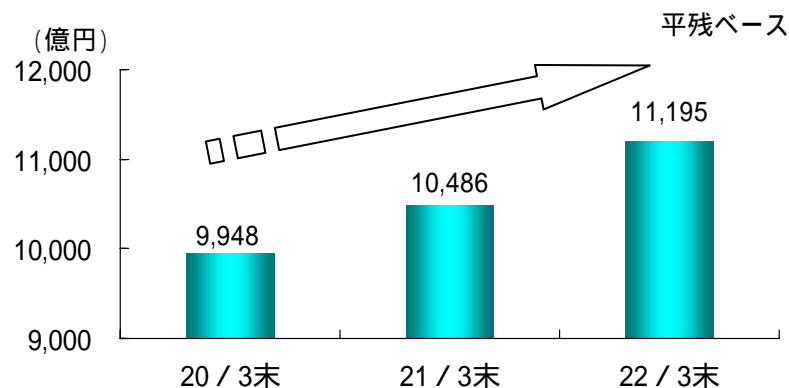
お客さまの多様なニーズに合わせた金融商品、融資手法のご提案により、お客さまの目線に立った営業を展開。

法人向けサービスの拡充

【中堅・中小企業の皆さまへの対応】

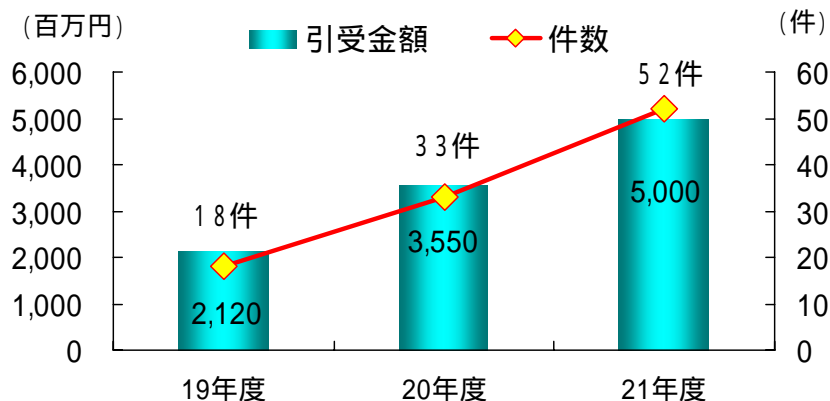
- 長期固定金利での調達が可能に**銀行保証付私募債の積極的な引受**を実施し、引受件数大幅増加
- 今後発展が見込まれる農業関連ビジネスへの対応を強化し、新たなマーケットとして開拓を図るため、農業事業者向け融資商品を推進
(「東邦・アグリ」「東邦・アグリ」)
- お客さまからの固定金利での資金調達ニーズにお応えするために**金利特約条項付ファンド「東邦・スーパーアシスト100」**を取扱い
- お客さまの保有する在庫・商品等を担保とした**動産担保融資(ABL)**への取組み等、お客さまの事業価値を見極める融資手法を積極的に活用
- **デリバティブ(クーポンスワップ等)**のご提案等、先進的な金融手法を駆使した新たな商品のご提案
- 企業間の新しい支払決済手段である「電子記録債権」の取引を開始されたお客さまの、当該債権の期日前資金化ニーズにお応えするため、**電子記録債権買取業務**の取扱いを開始

事業性貸出金残高の推移



私募債引受件数・金額の推移

お客さまの資金調達ニーズに積極的に対応したことにより引受件数・金額とも増加



3. 法人マーケット戦略(2)

企業経営者のさまざまな経営課題の解決を支援するための「経営課題提案型営業」を積極的に推進。

経営課題提案型営業の展開 (商標登録 第5290908号)

【県内企業の活力向上に向けた取組み】

- 経営者のさまざまな経営課題の解決を支援するため、各種セミナーを開催
 - 農商工連携セミナー アグリビジネスセミナー 事業承継セミナー
 - 医療経営セミナー アジアビジネスセミナー 産学連携セミナー
- 適格退職年金制度の廃止問題に対応するため、**企業型401k(確定拠出年金)**のご提案を積極的に実施
- お取引先の経営基盤強化のために、**食の商談会「ふくしまフードフェア2009」**などを活用したビジネスマッチングにより販路拡大機会を提供

各種セミナー参加者数

	開催地	参加者数
農商工連携セミナー	郡山市	約150名
アグリビジネスセミナー	郡山市	約150名
事業承継セミナー	県内6都市	計約160名
医療経営セミナー	郡山市	約120名
アジアビジネスセミナー	郡山市	約120名
産学連携セミナー(2回)	郡山市	計約280名

食の商談会「ふくしまフードフェア2009」



「ふくしまフードフェア2009」開催の成果

食の商談会「ふくしまフードフェア2009」

来場者数：1,050人(前年比+41人)
 商談件数：1,254件(前年比+323件)
 成約件数：338件(前年比+129件)

本フードフェアでのマッチングを契機に、**銀座のイタリアンレストランにて、出展企業4社の食材を利用した「ふくしまフェア」が開催される**などの成果が現れている

4. 個人マーケット戦略(1)

お客さまのさまざまなニーズに対応するため、取扱商品の拡充や、より安心できる資産運用の相談体制を整備。新たなATM戦略の展開やインターネット支店の開設など、利便性向上に向けたさまざまな取組みを実施。

個人預金・預かり資産の推進

【様々なニーズへ対応する豊富な商品ラインナップ】

- 好評の「**宝くじ付定期預金**」を引続き取扱(21年4月～7月・9～11月)
- 投資信託30ファンド、年金保険11種類を販売中(22年3月末現在)
- 保険商品のラインナップを拡充
 - 一時払終身保険 2種類 医療保険 3種類
 - がん保険 2種類 学資保険 1種類

【団塊の世代マーケットへの対応】

- **退職金専用定期預金「Newステージサポートプラン」**の取扱
- **<東邦>スーパー年金定期** の取扱期間を好評につき延長
公的年金の受取口座をご指定いただいているお客さまおよび
新たにご指定いただくお客さま向けに金利上乘せを行う商品

お客さまの利便性・サービス向上への取組み

【新たなチャネルとしてインターネット支店を開設】

- 窓口や店舗を持たない**県内初のインターネット上の支店**
- お客さまのパソコン・携帯電話やキャッシュカードで、
24時間いつでもお取引が可能
- 新規お預入れの**定期預金に店頭表示金利+年0.2%の金利上乘せ**を実施中
上乘せされた金利の適用は初回満期日までとなります
- **投資信託口座の開設や購入等**も可能

新たなATM戦略の展開

【ATMの利便性向上に向けた取組み】

- **時間外手数料無料化、コンビニATM手数料月3回無料化**
給与振込、年金振込、住宅ローンのいずれかの取引がある
お客さまに対し、上記サービスを提供
- **地方銀行5行とのATM利用手数料無料化**
秋田銀行・山形銀行・七十七銀行・常陽銀行・足利銀行と
個別にATM提携し、互いに出金時の他行利用手数料を
無料化
- **コンビニATM提携拡大**
セブン銀行、イーネット(ファミリーマート、ミニストップ)、ローソン
とのATM提携を実施
- **ATM営業時間の拡大**
当行ATMコーナーの営業時間を、最長で平日・土曜日・
祝日は22時まで、日曜日は21時まで拡大

クレジットカード業務の展開

【銀行本体によるクレジットカード業務への参入】

- お客さまのニーズを踏まえ、従来、当行関連会社が
担ってきたクレジットカード業務に銀行本体が参入
- ICキャッシュカードにクレジットカード機能を兼ね備え、
当行とのお取引内容に応じて各種特典が付加される
「東邦Alwaysカード」を平成19年9月より受付開始
- お客さまのニーズに合致した商品内容が、みなさまに
支持され、発売開始後**約2年半で17万件**にせまる
契約会員数となる

4. 個人マーケット戦略(2)

福島県内6ヵ所におけるローン専門店の個人ローン残高合計が1,800億円を突破する等、お客さまのニーズにあわせた営業体制や商品内容が支持されており、個人ローン残高は順調に増加。

個人ローンの推進

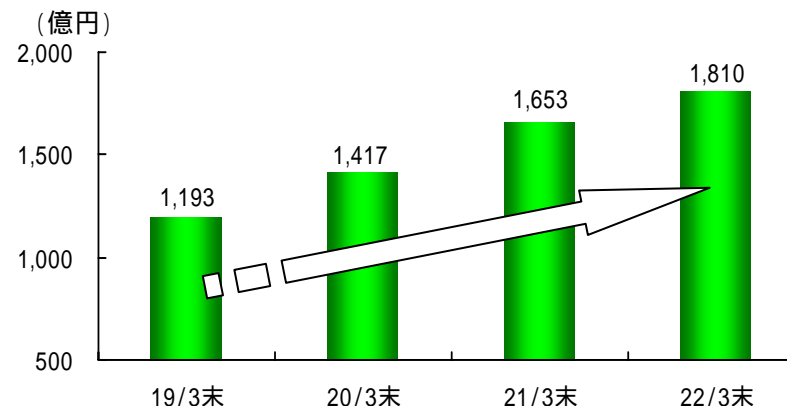
【お客さまのニーズを適切に捉えた商品内容・受付体制の拡充】

- さまざまな金利ニーズに対応した**3つの住宅ローン金利応援コース**
当初期間金利応援、 全期間金利応援、 全期間固定金利応援
- 「少子高齢化」「環境保護対策」に配慮した金利引下げを実施
個人ローン金利の「ファミたんカード」割引
『ファミたんカード』とは…福島県が子育て家庭を地域全体で支援する環境づくりに向けて、「福島県子育て応援パスポート事業」として発行しているカード
東邦オートローンにかかる**「エコカー(低公害車)」「福祉車両」等の金利引下げ**を拡大
- 住宅の新規取得をご融資対象とした無担保型の住宅ローン商品
「東邦・マル信無担保住宅ローン」の取扱いを開始
- 独立行政法人 住宅金融支援機構の住宅融資保険を付保した住宅ローン商品**「東邦 住宅融資保険付住宅ローン」**の取扱いを開始
- 1回のお申込みで複数の保証会社への審査が可能となる**「東邦・サポートローン」**の取扱いを開始
- 平日の日中・夜間の**住宅ローン相談出張サービス**を実施

ローン専門店(県内6ヵ所)



ローン専門店における個人ローン残高の推移



5. 地域活性化、金融円滑化への取組み

地域社会の活性化に向けてさまざまな取組みを行うとともに、地域金融の円滑化に向け、お取引先の皆さまの経営相談・経営支援等を継続的に実施。

地域活性化に向けた主な取組み

【お取引先や地域の成長支援に向けた取組み】

- 第四銀行・山形銀行との共催「**天地人キャンペーン**」による**地域特産品の東京でのPR**を実施
- 福島大学との産学連携による「会計戦略研究会」において地域活性化に向けた取組み等を紹介する「**地域活性化フォーラム**」を開催
- 中小企業の人材育成支援を目的とした、「**新入社員向けセミナー**」を県内6カ所で開催
- 中小企業庁の「地域力連携拠点事業」について、県内6拠点機関のパートナーとして参画

東京にて「天地人キャンペーン」PRイベントを開催



地域金融の円滑化に向けた主な取組み

【事業者の皆さまに対する取組み】

- 「**地域金融円滑化推進委員会**」の組成による相談体制の充実
- 資金繰りやご返済計画の見直しの相談が可能な、**事業資金の相談専門ダイヤル**を設置
- 他の金融機関からお借入れをされている場合についても、お客さまの同意を得たうえで、当該金融機関(信用保証協会等を含む)との緊密な連携を図りながら対応

【個人のお客さまに対する取組み】

- 県内の6カ所のローン専門店で休日も相談できる「**ご相談専用窓口**」を設置
- 勤務先の事情等による離職や収入の減少などで住宅ローンのご返済計画の見直しをされるお客さまについて、**ご返済期間を最長50年までに延長**する商品性を見直しを実施
- あわせて、上記のお客さまに対しては、当行および関連会社の**住宅ローンにおける返済条件変更手数料を無料化**
(平成23年3月末まで)
- 他の金融機関または住宅金融支援機構からお借入れをされている場合についても、お客さまの同意を得たうえで、当該金融期間等との緊密な連携を図りながら対応

6. CSR (企業の社会的責任) への取組み

ふるさと“ふくしま”の持続的発展に貢献していくため、「地域の環境保全」「地域社会の活性化」を重視したCSR活動を展開。

CSRへの取組み

【環境面への取組み】

- 福島県内で初めて、福島県が推進している「企業の森林づくり」制度を利用した「**とうほうの森**づくり(植林活動)」の実施(県内2ヵ所)
- 地方銀行64行が加盟している「日本の森を守る地方銀行有志の会」に参加。12月には「日本の森を守る京都サミット」に参加。
- 県のCO2排出量削減に向けた取組み「**福島議定書**」事業へ参加
- 住宅ローンのご成約者に対して、グリーン電力証書を配布する「**住宅ローン環境サポートローン**」を発売
(好評につき販売枠に到達したため、販売を終了いたしました)
- 尾瀬保護財団への信託報酬の寄付
- 「**東邦・エコ定期預金**」の販売による地元福島県の環境保全活動への寄付の実施(好評につき販売枠に到達したため、販売を終了いたしました)

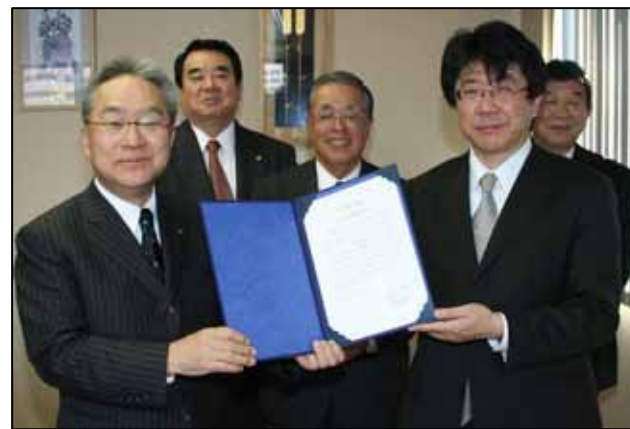
【社会面への取組み】

- 金融経済教育活動として、福島市・郡山市の県内2ヵ所において「**TOHO親子金融教室**」を開催
- 小さな親切運動による「**エコキャップ収集運動**」を開始
- 地元の小学校を対象に、環境教育「**みどりの授業**」を開催
- 学生に対して職場体験の機会を提供する**インターンシップ**を継続実施
- 財団法人 東邦育英会による奨学金の支給
- 財団法人 東邦銀行文化財団によるスポーツ・文化活動への助成

「とうほうの森」づくり(植林活動)



「ふくしまエコキャップ運動」の展開(読売グループ福島との相互協力)



7. 人材育成への取組み

従業員が働きがいを実感できる企業風土の醸成や、当行の将来を担い、地域を支える人材を育成するためにさまざまな取組みを実施。

地域を支える人材育成への取組み

【充実した教育研修制度】

- ▶ 当行独自の研修体系である「**東邦カレッジ**」により、若手行員・パートタイマー向けのベーシックコースや、より専門的なスキルを育成する各種トレーナー研修など、充実した研修を実施
- ▶ 平成18年より、**当行独自の海外研修**を開始。経営層、中堅層、若手層にて幅広い年代の世代を超えた15名程度の視察団を経済・金融の中心である米国に毎年派遣
- ▶ 当行の持続的な成長を担う人材を育成するため、**ビジネススクールや中小企業大学校等への行外派遣研修制度**を充実
- ▶ 専門的な能力開発を支援する目的で、「**語学研修**」「**中小企業診断士1次受験対策講座**」を継続実施

働きがいを実感できる企業風土の醸成

【全員参加型の企業風土の確立】

- ▶ 福島労働局より県内の大企業第1号として、次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組む企業の認定である「**次世代認定マーク(愛称“くるみん”)**」を取得
- ▶ 女性が生き生きと働くことのできる組織を創ることを目的とした「**女性活躍推進プロジェクト**」を発足
- ▶ 従業員家族を対象とした「**職場見学会**」を実施



平成21年度に実施した主な人材育成施策

【行内集合研修等】

行内研修	251講座開催	受講者数	のべ4,500名
休日セミナー	32講座開催	受講者数	のべ1,100名
新入行員を対象とした「メンター(助言者)制度」の実施			

【行外派遣研修等】

行外派遣研修	23講座	派遣者数	110名
当行独自「海外派遣研修」		派遣者数	20名
ビジネススクール(MBA取得等への派遣)		派遣者数	3名 (首都圏大学2、県内大学1)

【人材育成のための各種サポート】

- 「中小企業診断士」資格取得サポート
- 「FP技能士」資格取得サポート
- 「語学研修」サポート

【若手行員の外部出向・派遣等】

- (独)日本貿易振興機構(ジェトロ)への出向派遣
- 「福島県上海事務所」への出向派遣
- 他銀行への「事業承継トレーナー」研修派遣
- 他銀行への「国際業務トレーナー」研修派遣
- 大手証券会社への研修派遣
- 首都圏外部シンクタンクへの派遣

8. その他

東邦銀行は、これからも“ふくしま”の発展とお客さまの豊かな暮らしづくりのために力を尽くしてまいりますので、最寄の支店、もしくは下記のご連絡先へ、お気軽にご相談下さい。

各種商品・サービス内容のお問い合わせ

トホー ハローコール

- ・ハローサービスセンター 0120-14-8656

事業資金のご相談（金融円滑化に関するご相談を含む）

トホーなら いーな

- ・ビジネスローンプラザ 0120-1047-17

個人向けローンのご相談（金融円滑化に関するご相談を含む）

ローンは トホー

- ・「福島」「郡山」「須賀川」「会津」「いわき」「白河」の個人向けローン専門店 0120-608-104

苦情等の受付窓口

- ・「お客さま相談室」 024-523-3131

本資料には、将来の業績に係る記述が含まれておりますが、こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性がありますのでご留意ください。

< 本資料に関するお問い合わせ先 >

東邦銀行 総合企画部

TEL 024-523-3131

FAX 024-524-1425